



福岡県行政資料	
分類記号 RE	所属コード 1501900
登録年度 31	登録番号 0001

福岡県の下水道
令和元年度
福岡県建築都市部下水道課



福岡県建築都市部下水道課（令和2年3月）



大川市 風浪宮大祭 流鏝馬（やぶさめ）2月

【表紙】 画 わさき ともゆき作

福岡県の下水道 令和元年度版

令和2年3月 発行
福岡県建築都市部下水道課
〒812-8577 福岡市博多区東公園 7-7
TEL 092-651-1111
(内線 4724~4729)
FAX 092-632-6103
Eメール gesuido@pref.fukuoka.lg.jp

※本資料は、平成31年3月31日現在のデータを反映しております。

はじめに

下水道は、浄化槽などの汚水処理施設とともに、生活環境改善や河川・海などの公共用水域の水質環境改善に寄与するとともに、市街地での雨水排除にも、河川と同様に重要な役割を担っています。

令和元年度は台風 15 号、19 号により、広範囲にわたる浸水被害が発生し、処理場やポンプ場などの下水道施設も被災や停電等によって機能停止に陥りました。このような災害が今後も起こりうるため、施設の浸水対策や耐水化と併せて、業務継続計画の重要性が日々増しているところです。

加えて、経営環境が厳しさを増す現状を踏まえ、更なる効率化による汚水処理事業の持続性確保に向け、令和 4 年度までに「広域化・共同化計画」を策定する事としており、昨年度に構築した検討体制の下、今年度は 9 月の全体会議を経て、11 月に全ブロックにおいて各ブロックリーダーを中心としたブロック会議を開催したところです。

また、県が事業を進める流域下水道事業でのトピックとして、御笠川浄化センターにおいて平成 28 年度に事業着手しておりました下水汚泥固形燃料化施設が昨年 4 月に供用開始しました。この結果、温室効果ガスの削減やエネルギーの有効利用が可能となり、地球温暖化対策や循環型社会の推進に大きく寄与しております。

本書は、本県における下水道の取り組みなどを紹介することで、県民の皆様に、下水道について、一層理解を深めていただくことを目的に作成しております。今後とも、下水道事業の推進にご理解とご協力をお願いいたします。

令和 2 年 3 月

福岡県建築都市部下水道課長 宇都宮 道明

目次

I. 下水道事業

I-1	福岡県の下水道変遷	7
I-2	下水道の役割	8
I-3	下水道のしくみ	8
I-4	下水道の種類	10
I-5	下水道の実施状況	14
I-6	下水道整備状況	35
I-7	下水道普及状況	37
I-8	下水汚泥処理処分状況	39
I-9	汚水処理人口普及率状況総括図	40
I-10	事業実施の手順	44
I-11	下水道事業における関係予算	48

II. 公共下水道事業

II-1	市町村別計画平面図（汚水）	57
II-2	雨水（浸水）対策計画	108

III. 流域下水道事業

III-1	福岡県の流域下水道	113
III-2	御笠川那珂川流域下水道事業	122
III-3	多々良川流域下水道事業	128
III-4	宝満川流域下水道事業	132
III-5	宝満川上流流域下水道事業	136
III-6	筑後川中流右岸流域下水道事業	138
III-7	遠賀川下流流域下水道事業	142
III-8	矢部川流域下水道事業	146
III-9	遠賀川中流流域下水道事業	150
III-10	明星寺川流域下水道事業（平成26年度完了）	154
III-11	流域下水道における計画的な改築・維持管理について	155
III-12	流域下水道の地震対策について	157
III-13	下水道革新的技術実証事業（B-DASH）	159

下水道事業

公共下水道事業

流域下水道事業

下水道事業の 主な事業制度

流域別下水道 整備総合計画

今後の汚水処理の 適正化に向けて

令和元年度の トピックス

参考資料

下水道事業

公共下水道事業

流域下水道事業

下水道事業の 主な事業制度

流域別下水道 整備総合計画

今後の汚水処理の 適正化に向けて

令和元年度の トピックス

参 考 資 料

IV. 下水道事業の主な事業制度

IV-1	未普及対策	163
IV-2	浸水対策	163
IV-3	地震対策	164
IV-4	改築更新	164
IV-5	水質改善・資源利用	165
IV-6	官民連携	167
IV-7	広域化・共同化等	167

V. 流域別下水道整備総合計画

V-1	流域別下水道整備総合計画	171
-----	--------------	-----

VI. 今後の汚水処理の適正化に向けて

VI-1	福岡県汚水処理構想の策定（平成29年3月）	175
VI-2	福岡県汚水処理構想の策定内容	176
VI-3	構想策定から事業実施まで	179
VI-4	下水道事業における広域化・共同化による経営効率化について	181

VII. 令和元年度のトピックス

VII-1	マンホールカードの発行	185
VII-2	災害時支援に関するルール	189
VII-3	情報ネットワークの構築	190

VIII. 参考資料

VIII-1	事業実施の手順	197
VIII-2	下水道に関する指標について	198
VIII-3	県内市町の下水道料金制度	202
VIII-4	施設見学・イベント実施状況	206
VIII-5	水質保全に係る法体系	215
VIII-6	河川・海域別水質経年変化	226
VIII-7	下水道事業執行体制	243